

# 山を乗り越える力

〜二つのスワヒリ語のこころをわがが考え〜

田岡 ひろみ

◆「穏やかに構えていれば、いろいろなことが聞こえてくる。」

今年二月初め、長年ともに働いてきた辻伊織さんが亡くなりました(三一ページに訃報を掲載)。リサイクル事業の責任者であり、豊能障害者労働センターの役員も担っていた辻さん。

辻さんが担っていたことは大きく、どんなにみんなが頑張ってもすぐにはその穴を埋められるわけもなく、事業全体を減速してすすめているのが現状です。

私が一般企業を退職して豊能障害者労働センターで働き始めた頃のことです。月二回夜に行われる全体の会議で代表の小泉祥一さん(当時は事務局長)が発言する時のことを思い出します。脳性まひの障害を持つ小泉さんは、言葉を発するまでとても時間がかかります。時には一分以上沈黙が続くことも。私は最初その場面に直面した時に(えっ?みんなずっと待つのか?誰か助け船を出すのか、何とかしないと……)と

思い周りを見渡しましたが、みんな集中して小泉さんの言おうとしていることに耳を傾けています。その時は、整理して考えられませんでした。その後いろいろな障害者スタッフと関わる中で「ともに」ということは、その人の持っている時間の流れに入りお互いに歩み寄って理解をしていくことなのかなと、感じるようになりました。

アフリカに「穏やかに構えていれば、いろいろなことが聞こえてくる」ということわざがあります。一人ひとりの人とゆっくり向き合う中で、小さな息遣いが聞こえ、本当に大切なものが見えてくるというメッセージです。障害をもつ人と一緒に何かをする時、言葉だけではなかなか通じ合えないことがよくあります。何か問題が起こった時、本人の気持ちを引き出すには本当に時間がかかります。その問題が起こるまでの背景から推測したり、その時の表情から読み取ったり、どんな風に質問したら心に届くか、どんな提案をしたらこちらを向いてもらえるかなど考えながら、話をしているとあつという間に

リカの布でバッグ等の商品を企画販売してきましたが、裁断した後はどうしても、小さな布切れが残ってしまいます。

二〇二一年、大阪府箕面市在住のぬいぐるみ作家、るーさんとの出会いがありました。るーさんは、布や皮、レース等の小さな素材を活かし、様々な動物のぬいぐるみを製作されている作家さんです。

今年は、ぜひ私たちの手元に眠っているアフリカの布切れを使って動物のぬいぐるみを作っていたら、それをTシャツのデザインに使わせていただきた、とるーさんにお願ひしました。そして生まれたのが、ピンクの眉と鼻がキーンとツチブタと、凛々しい表情のホロホロ鳥のぬいぐるみでした。

ツチブタとホロホロ鳥の体には私たちの見えるのある生地が見事に使われ、わずか幅一センチ程の布切れまでその柄を活かし、生き生きとした動物に変身しています。これには通信販売のスタッフをはじめ、みんな大感動でした。

このぬいぐるみたちにどんなメッセージを託そうかと考え、探し当てたのは東アフリカで使われている言語・スワヒリ語のことわざです。つづらな瞳でこちらを見つめ、耳が大きなツチブタには「穏やかに構えていれば、いろいろなことが聞こえてくる。」というメッセージを重ねました。

時間が経ってしまいます。正直、自分の仕事ができることが頭をよぎりますが、この話し合いをせずに「健常者」が勝手にすすめてしまふと「ともに働く」形が崩れてしまいます。

## ツチブタのメッセージ



穏やかに構えていれば、いろいろなことが聞こえてくる。

◆「山と山は出会わないが、人と人は出会う」

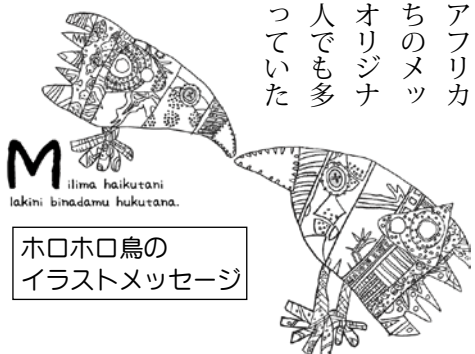
困難に出会った時、ケニアでは次のように言うそうです。「困っている人がいたら、たとえ手元が不意でも、出来るだけ助けてあげなさい。そうすれば、あなたが本当に困った時にも助けてもらえるものです。友達こそが本当の財産です。たとえ、戦争に巻き込まれても、爆発があっても、どんな困難な中でも、それを忘れてはいけません。そう、スワヒリ語のことわざにもいっとうではありませんか。山と山は出会わないが、人は出会うものだ、と。」

(日本学術振興会ナイロビ研究連絡センター・ニュース「ふくたーな」より)

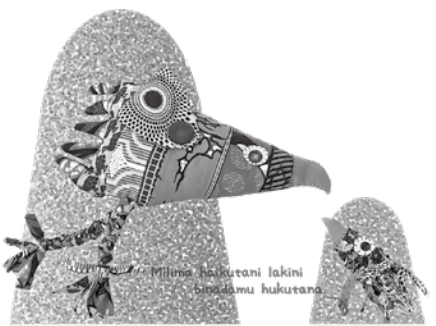
また、力強い原色が共鳴し走っているようなホロホロ鳥のぬいぐるみ二体のリアルな写真と山のデザインを組み合わせ「山と山は出会わないけど、人と人は出会う」というメッセージを託しました。

そして、そのホロホロ鳥のぬいぐるみを見て豊能障害者労働センターの馬木優一が緻密な筆致で描いたイラストは二羽の鳥を向かい合わせに、「ことばを紡いで対話を重ね新しい道を探っていく」というイメージで仕上げました。偶然の出会いから新しいものが生まれ、そのものを通じてまた人がつながっていく可能性を感じています。アフリカの息遣いと私たちのメッセージをこめたオリジナルTシャツを一人でも多くの方の手にとつていただけることを願っています。

## ホロホロ鳥のイラストメッセージ



## ホロホロ鳥のメッセージ



Milima haikutani lakini binadamu hukutana.  
山と山は出会わないけど、人と人は出会う

厳しい自然環境や社会状況の中で、さまざまな困難に見舞われながらも、それを乗り越えていくための知恵と文化がこのことわざには秘められています。過酷な状況に直面した時、人とのつながりがこそが支えてくれるというメッセージです。

豊能障害者労働センターも非常に困難な状況にあります。これまでの人と人のつながりに様々な方面から支えられ、助けていただいています。

そして困難な時だからこそ、穏やかに構えて耳をすまし、一つひとつの出会いを大切にしてみんなで乗り越えていきたいと思えます。

◆出会い〜つながる〜広がる可能性

豊能障害者労働センターではこれまでにアフ



▲馬木 優一

